さらに進んだ使い方

本製品は、各パソコン用に silex technology, Inc. 製指紋センサを導入いただくことで、便利に、かつ、セキュアな印刷環境を構築することができます。本章では、各パソコンに指紋センサを接続した場合の利用方法について説明します。
silex technology, Inc.製指紋センサについては、弊社Webサイト(http://www.silex.jp/japan/index.php)の製品紹介のページを参照してください。

1 Windows にログオンした時の指紋データで印刷する 2
プリンタポートを追加する 3
印刷する 6
2 印刷実行時に採取した指紋データで印刷する 9
プリンタポートを追加する 10
印刷する 13
3 データの暗号化のみを行って印刷する 16
プリンタポートを追加する 17
印刷する 20
4 登録したユーザのみが印刷を実行できるように制限する 21
プリントサーバ部に指紋データを登録する 22
印刷する 26

1 Windowsにログオンした時の指紋データで印刷する

この方法では、silex technology, Inc.製指紋センサに付属の「SX-Biometrics Suite」のWindowsログオン機能にて登録された指紋データを用いて、指紋データの照合を行います。パソコンを複数のユーザで共有している場合に、ログオンしたユーザごとに印刷時の指紋照合ができるため、よりセキュアな印刷環境を構築することができます。

この方法では、本製品に付属の指紋センサを先にプリントサーバ部に接続しておきます。

注意

・指紋センサは本製品のプリントサーバ部の「USB4」ポートに接続してください。

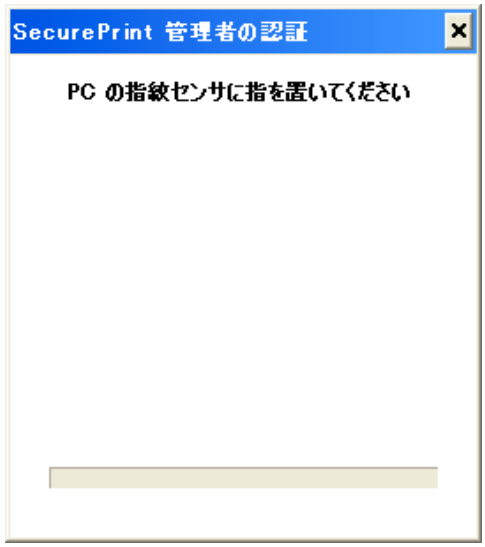
プリンタポートを追加する

1. SecurePrint の管理者情報登録完了画面から引き続き設定します。

参考

- アプリケーションのインストール作業にてポート追加をせずに終了した場合は、Windows OS の「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「SecurePrint」にある「SecurePrint ポート追加」を実行します。
- 初期設定を指示する画面が表示された場合は「アプリケーションのインストール」 - 「初期設定をする」を参照して、管理者情報を登録してください。
- プリンタドライバをインストールしていない場合は、あらかじめプリンタに付属のCD-ROMをパソコンにセットし、画面の指示に従ってプリンタドライバのインストールを行ってください。

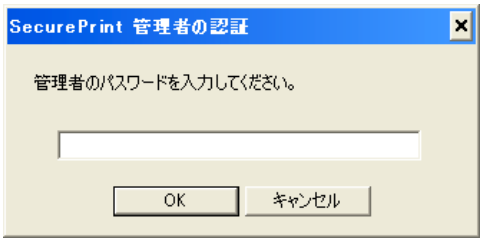
2. 指紋照合ウインドウが表示されますので、パソコンに接続されている指紋センサに管理者情報として登録した指を置きます。



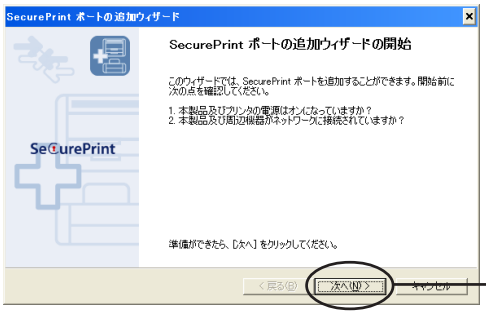
指紋センサに指を置きます。

注意

- 下記の場合、パスワード入力ウインドウが表示されますので、管理者情報として登録したパスワードを入力して、「OK」をクリックします。
  - 指紋センサがパソコンに接続されていない場合
  - 管理者情報に指紋データを登録していない場合
  - 指紋入力ウインドウが表示された状態でホットキーが入力された場合

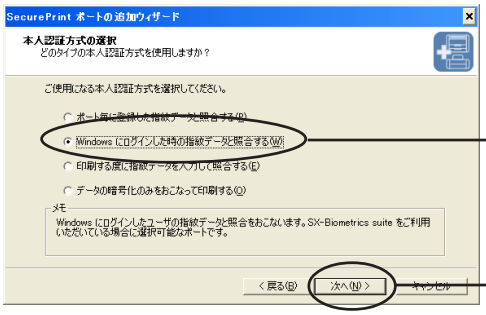


3. SecurePrint ポート追加ウィザードが開始します。



「次へ」をクリックします。

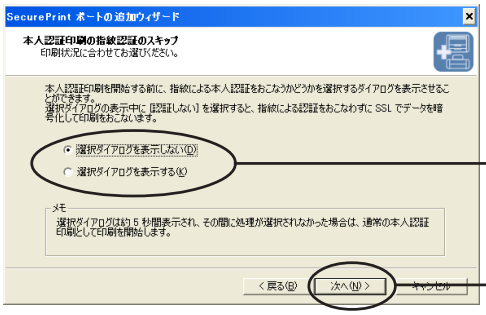
4.



「Windowsにログオンした時の指紋データと照合する」を選択します。

「次へ」をクリックします。

5.



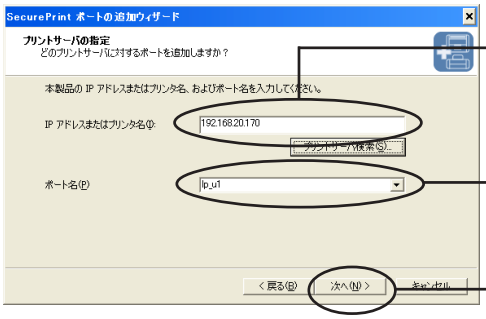
印刷実行時の本人認証スキップを確認するメッセージを表示させるかを選択します。

「次へ」をクリックします。

参考

・印刷実行時に状況に応じて本人認証をスキップすることがある場合は「選択ダイアログを表示する」を選択します。
印刷実行時に必ず本人認証を行う場合は「選択ダイアログを表示しない」を選択します。

6.



プリントサーバに登録したIPアドレスを入力します。

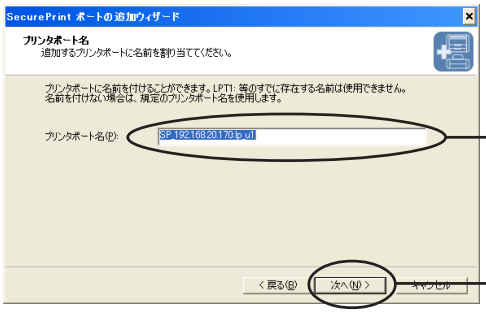
プルダウンメニューから出力するプリンタのポート名を選択します。

「次へ」をクリックします。

参考

・IP アドレスは「プリントサーバ検索」をクリックして一覧から選択することもできます。
・ポート名「lp_u1～lp_u3」はそれぞれプリントサーバの USB ポート「USB1～USB3」に対応します。

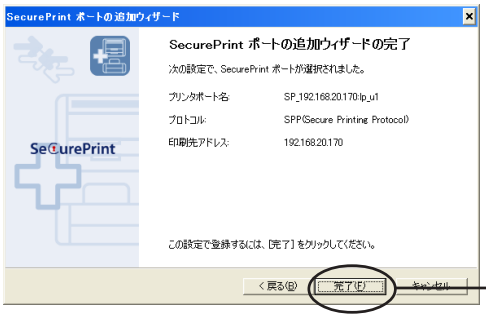
7.



名前を指定しない場合は既定のプリンタポート名を使用してください。

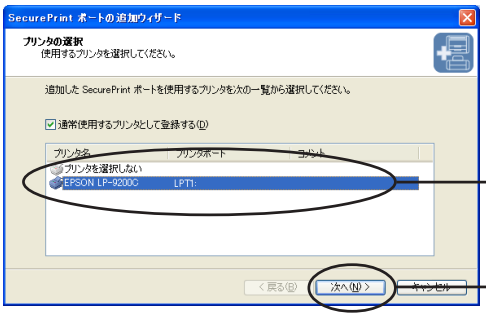
「次へ」をクリックします。

8.



「完了」をクリックします。

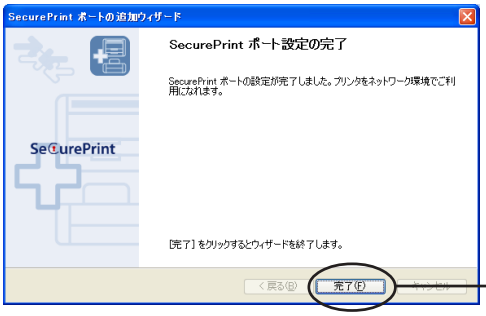
9.



使用するプリンタを選択します。

「次へ」をクリックします。

10.



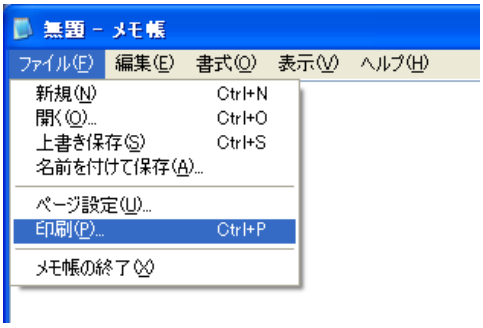
「完了」をクリックします。

参考

・別のパソコンの設定を行う場合は、「アプリケーションのインストール」、および、本章「さらに進んだ使い方」を参考にパソコンの設定を行ってください。

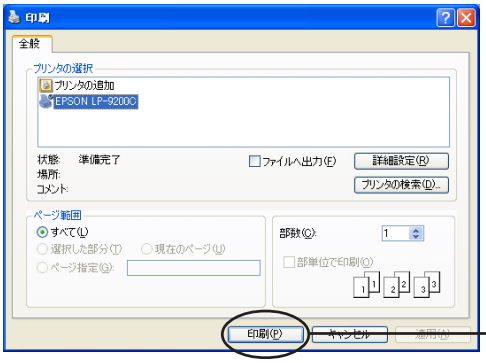
印刷する

1. 印刷する文章を開き、アプリケーションから印刷を実行します。



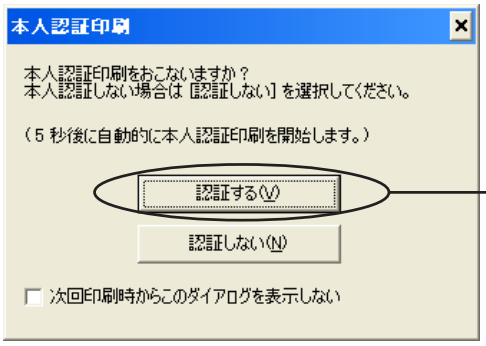
注意
・印刷の実行方法はアプリケーションにより異なります。アプリケーションの取扱説明書またはヘルプを参照してください。

2. 印刷ダイアログウインドウで「印刷」をクリックします。



「印刷」をクリックします。

3.

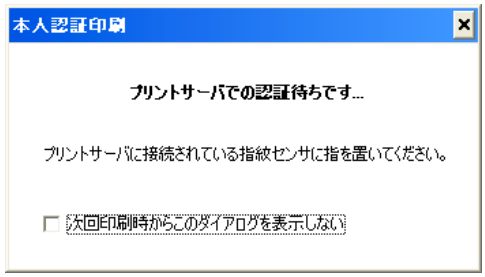


「認証する」をクリックします。

注意
・ポート設定の「本人認証印刷の指紋認証のスキップ」設定において、「選択ダイアログを表示しない」に設定している場合は、この画面は表示されません。

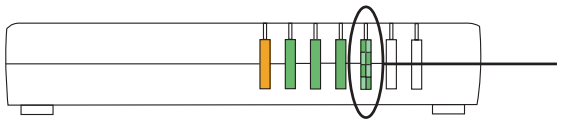
参考
・「認証しない」をクリックすると指紋認証をせずに印刷が実行されます。
・ボタンを押さなければ、5 秒後に画面が終了して自動的に本人認証印刷が実行されます。
・この画面で「次回印刷時からこのダイアログを表示しない」をチェックすると、次回の印刷時からこの画面が表示されなくなります。

4. 指紋認証待ちの画面が表示されます。



参考
- この画面で「次回印刷時からこのダイアログを表示しない」をチェックすると、次回の印刷時からこの画面が表示されなくなります。
- 画面のタスクバーにある「X」ボタンをクリックすると印刷をキャンセルできます。

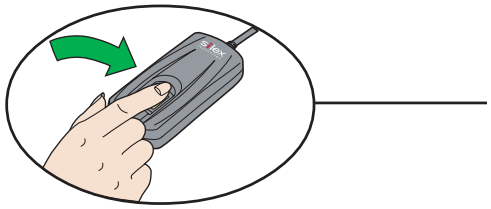
5. 本製品の「Identify LED」が点滅していることを確認します。



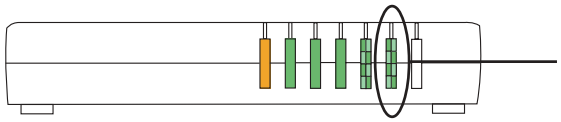
Identify LED が点滅することを確認します。

注意
- Identify LED が点滅していない場合は、本製品のプリントサーバ部でパソコンからの印刷要求を受け付けていない状態です。再度、パソコンで印刷が実行されていることを確認してください。

6. 指紋センサに指を置き、指紋の照合を行います。この時、本製品の「Verify LED」が点滅し、短いブザー音が鳴ります。



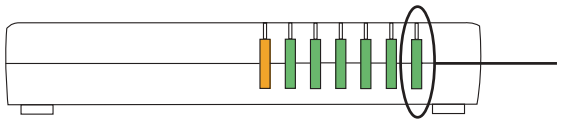
指紋センサに指を置きます。



Verify LED が点滅することを確認します。

注意
- 指紋照合は、Windows ログオン時に照合した指紋データと同じ人の同じ指で照合してください。

7. 指紋照合にパスすると長いブザー音が鳴り、本製品の「Print LED」が点灯して、プリンタが印刷動作を開始します。



Print LED が点灯することを確認します。

注意

・指紋照合にパスしなかった場合は、プリンタで印刷が実行されずに、本製品の「Identify LED」のみが点滅する状態(手順 5の状態)に戻ります。この場合は、再度、指紋センサに指を置き、指紋照合を行ってください。

2 印刷実行時に採取した指紋データで印刷する

この方法では、印刷を実行する際に、パソコン側で指紋データを採取し、そのデータをプリントサーバ側に接続された指紋センサで採取した指紋データと照合して印刷を行います。1台のパソコンを複数のユーザで共有している場合に、簡単に個人認証ができる印刷環境を構築することができます。

この方法では、本製品に付属の指紋センサを先にプリントサーバ部に接続しておきます。印刷を実行した際の指紋データ採取は、パソコンに接続された指紋センサをご使用ください。

注意

・指紋センサは本製品のプリントサーバ部の「USB4」ポートに接続してください。

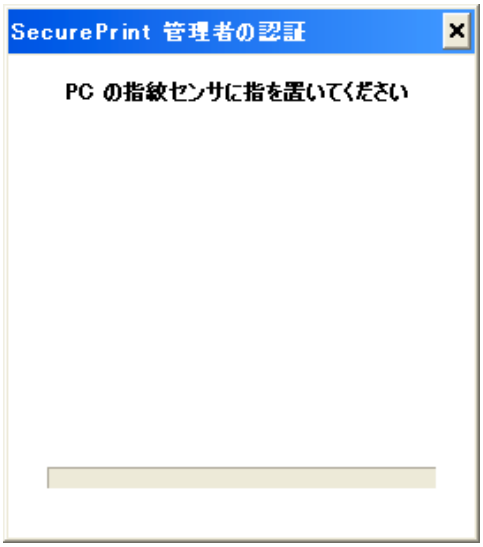
プリンタポートを追加する

1. SecurePrint の管理者情報登録完了画面から引き続き設定します。

参考

- アプリケーションのインストール作業にてポート追加をせずに終了した場合は、Windows OS の「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「SecurePrint」にある「SecurePrint ポート追加」を実行します。
- 初期設定を指示する画面が表示された場合は「アプリケーションのインストール」 - 「初期設定をする」を参照して、管理者情報を登録してください。
- プリンタドライバをインストールしていない場合は、あらかじめプリンタに付属のCD-ROMをパソコンにセットし、画面の指示に従ってプリンタドライバのインストールを行ってください。

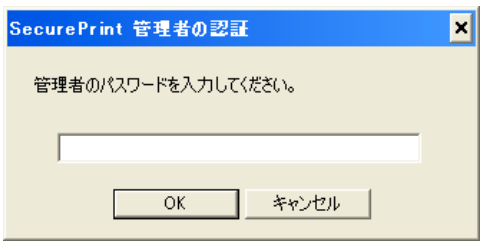
2. 指紋照合ウインドウが表示されますので、パソコンに接続されている指紋センサに管理者情報として登録した指を置きます。



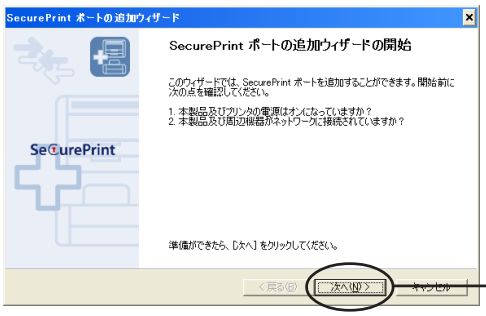
指紋センサに指を置きます。

注意

- 下記の場合、パスワード入力ウインドウが表示されますので、管理者情報として登録したパスワードを入力して、「OK」をクリックします。
  - 指紋センサがパソコンに接続されていない場合
  - 管理者情報に指紋データを登録していない場合
  - 指紋入力ウインドウが表示された状態でホットキーが入力された場合

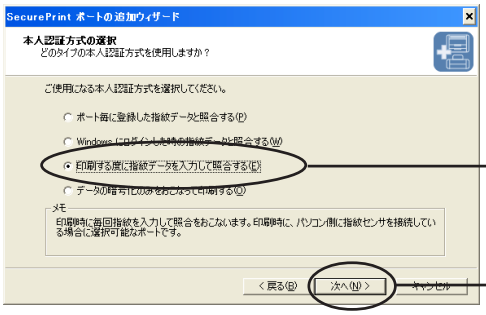


3. SecurePrint ポート追加ウィザードが開始します。



「次へ」をクリックします。

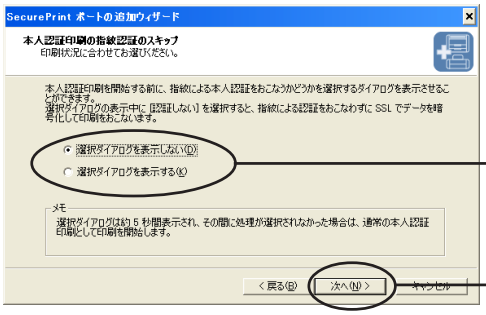
4.



「印刷する度に指紋データを入力して照合する」を選択します。

「次へ」をクリックします。

5.



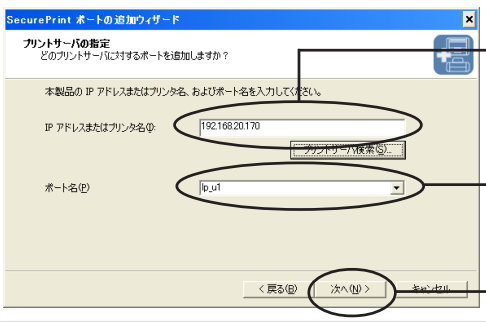
印刷実行時の本人認証スキップを確認するメッセージを表示させるかを選択します。

「次へ」をクリックします。

参考

・印刷実行時に状況に応じて本人認証をスキップすることがある場合は「選択ダイアログを表示する」を選択します。
印刷実行時に必ず本人認証を行う場合は「選択ダイアログを表示しない」を選択します。

6.



プリントサーバに登録したIPアドレスを入力します。

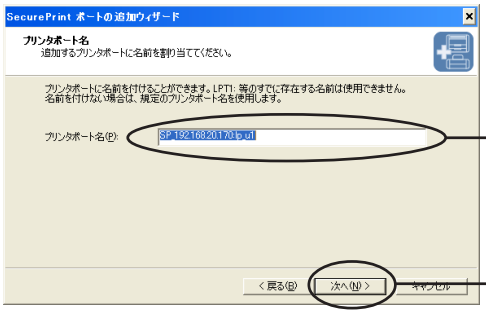
プルダウンメニューから出力するプリンタのポート名を選択します。

「次へ」をクリックします。

参考

・IP アドレスは「プリントサーバ検索」をクリックして一覧から選択することもできます。
・ポート名「lp_u1～lp_u3」はそれぞれプリントサーバの USB ポート「USB1～USB3」に対応します。

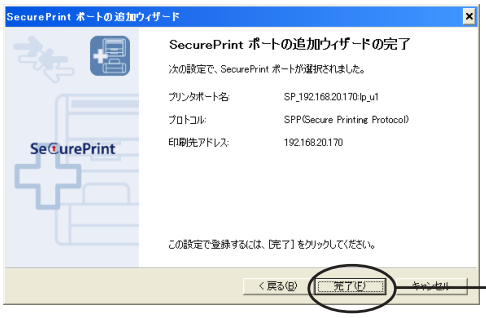
7.



名前を指定しない場合は既定のプリンタポート名をご使用ください。

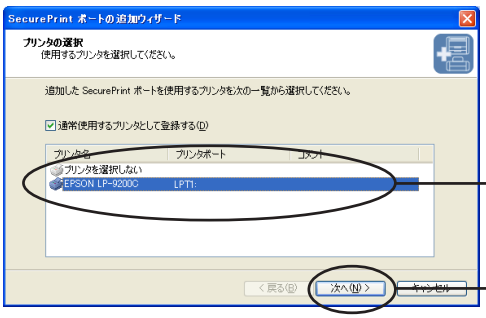
「次へ」をクリックします。

8.



「完了」をクリックします。

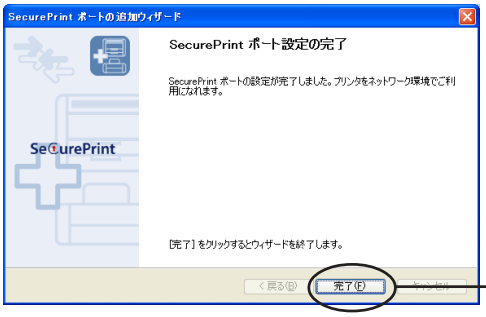
9.



使用するプリンタを選択します。

「次へ」をクリックします。

10.



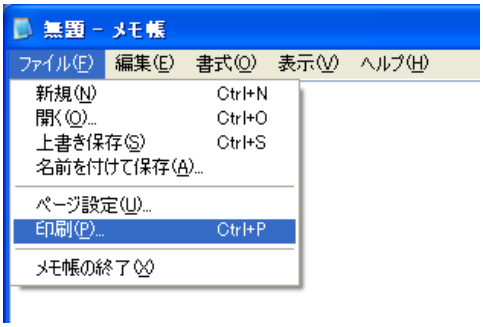
「完了」をクリックします。

参考

・別のパソコンの設定を行う場合は、「アプリケーションのインストール」、および、本章「さらに進んだ使い方」を参考にパソコンの設定を行ってください。

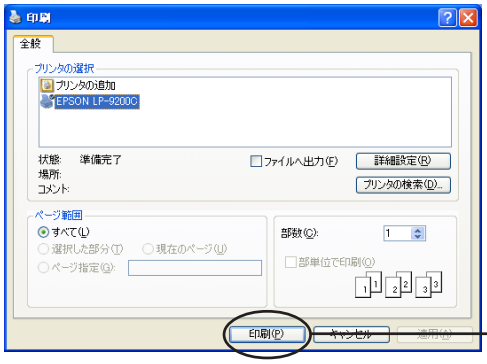
印刷する

1. 印刷する文章を開き、アプリケーションから印刷を実行します。



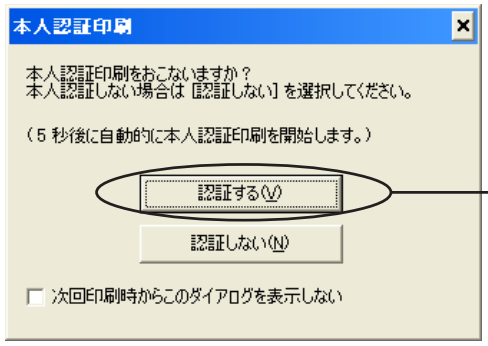
注意
・印刷の実行方法はアプリケーションにより異なります。アプリケーションの取扱説明書またはヘルプを参照してください。

2. 印刷ダイアログウインドウで「印刷」をクリックします。



「印刷」をクリックします。

3.

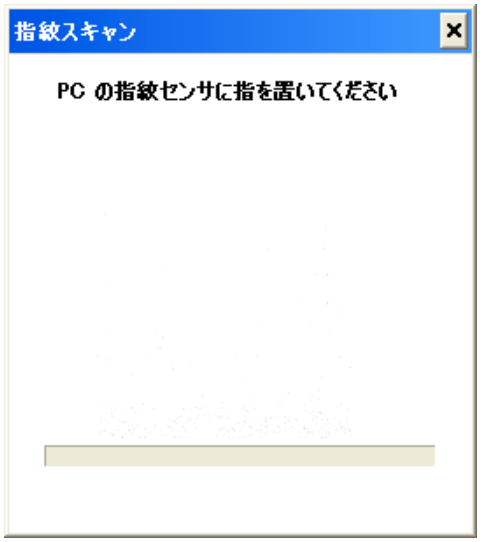


「認証する」をクリックします。

注意
・ポート設定の「本人認証印刷の指紋認証のスキップ」設定において、「選択ダイアログを表示しない」に設定している場合は、この画面は表示されません。

参考
・「認証しない」をクリックすると指紋認証をせずに印刷が実行されます。
・ボタンを押さなければ、5 秒後に画面が終了して自動的に本人認証印刷が実行されます。
・この画面で「次回印刷時からこのダイアログを表示しない」をチェックすると、次回の印刷時からこの画面が表示されなくなります。

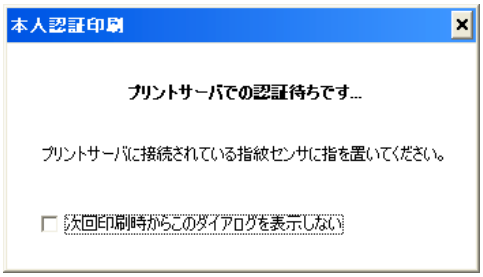
4. 指紋入力ウインドウが表示されますので、パソコンに接続されている指紋センサに指を置きます。



指紋センサに指を置きます。

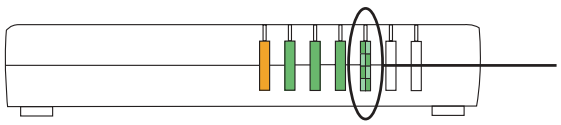
参考
- 画面のタスクバーにある「X」ボタンをクリックすると印刷がキャンセルできます。

5. 指紋認証待ちの画面が表示されます。



参考
- この画面で「次回印刷時からこのダイアログを表示しない」をチェックすると、次回の印刷時からこの画面が表示されなくなります。
- 画面のタスクバーにある「X」ボタンをクリックすると印刷をキャンセルできます。

6. 本製品の「Identify LED」が点滅していることを確認します。

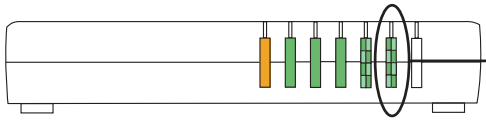


Identify LED が点滅することを確認します。

注意
- Identify LED が点滅していない場合は、本製品のプリントサーバ部でパソコンからの印刷要求を受け付けていない状態です。再度、パソコンで印刷が実行されていることを確認してください。

7. 指紋センサに指を置きます。この時、本製品の「Verify LED」が点滅し、短いブザー音が鳴ります。

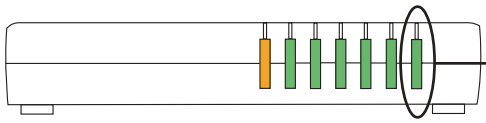
指紋センサに指を置きます。



Verify LED が点滅することを確認します。

注意
・指紋照合は、印刷実行時に入力した指紋データと同じ人の同じ指で照合を行ってください。

8. 指紋照合にパスすると長いブザー音が鳴り、本製品の「Print LED」が点灯して、プリンタが印刷動作を開始します。



Print LED が点灯することを確認します。

注意
・指紋照合にパスしなかった場合は、プリンタで印刷が実行されずに、本製品の「Identify LED」のみが点滅する状態(手順 6の状態)に戻ります。この場合は、再度、指紋センサに指をのせ、指紋照合を行ってください。

3 データの暗号化のみを行って印刷する

この方法では、指紋照合による本人認証機能を使用せずにSecurePrintポートの暗号化通信機能のみを用いて印刷を実行します。

この方法では、本製品に付属の指紋センサは使用しません。

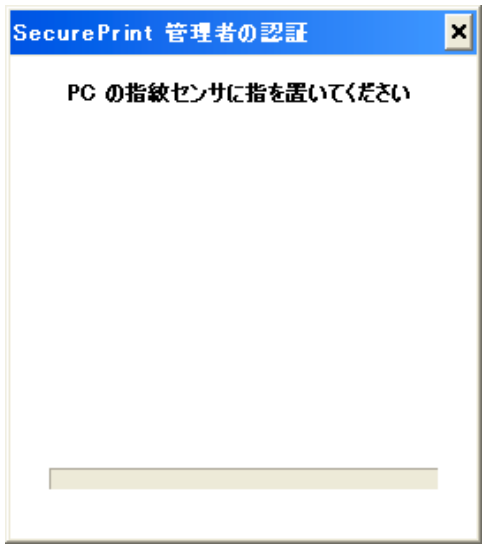
プリンタポートを追加する

1. SecurePrint の管理者情報登録完了画面から引き続き設定します。

参考

- アプリケーションのインストール作業にてポート追加をせずに終了した場合は、Windows OS の「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「SecurePrint」にある「SecurePrint ポート追加」を実行します。
- 初期設定を指示する画面が表示された場合は「アプリケーションのインストール」 - 「初期設定をする」を参照して、管理者情報を登録してください。
- プリンタドライバをインストールしていない場合は、あらかじめプリンタに付属の CD-ROM をパソコンにセットし、画面の指示に従ってプリンタドライバのインストールを行ってください。

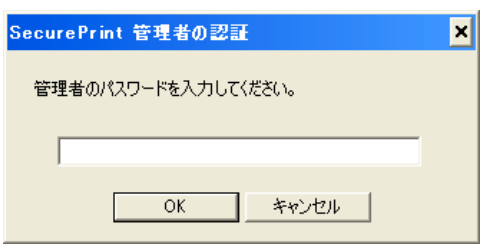
2. 指紋照合ウインドウが表示されますので、パソコンに接続されている指紋センサに管理者情報として登録した指を置きます。



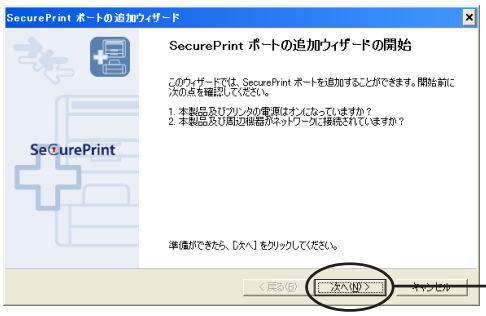
指紋センサに指を置きます。

注意

- 下記の場合、パスワード入力ウインドウが表示されますので、管理者情報として登録したパスワードを入力して、「OK」をクリックします。
  - 指紋センサがパソコンに接続されていない場合
  - 管理者情報に指紋データを登録していない場合
  - 指紋入力ウインドウが表示された状態でホットキーが入力された場合

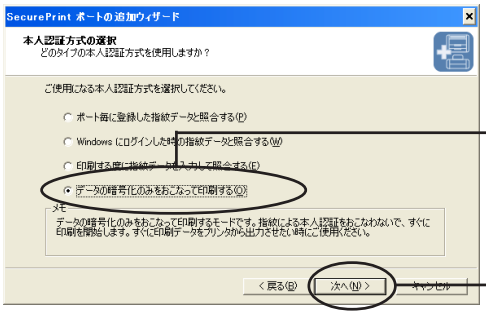


3. SecurePrint ポート追加ウィザードが開始します。



「次へ」をクリックします。

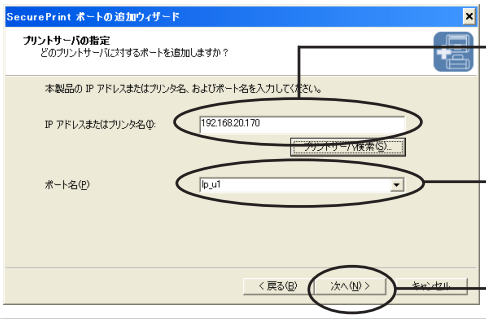
4.



「データの暗号化のみを行って印刷する」を選択します。

「次へ」をクリックします。

5.



プリントサーバに登録したIPアドレスを入力します。

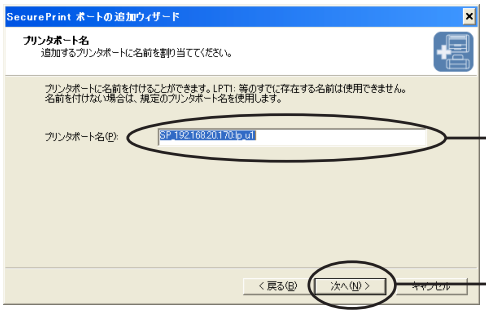
プルダウンメニューから出力するプリンタのポート名を選択します。

「次へ」をクリックします。

参考

- IP アドレスは「プリントサーバ検索」をクリックして一覧から選択することもできます。
- ポート名「lp_u1～lp_u3」はそれぞれプリントサーバの USB ポート「USB1～USB3」に対応します。

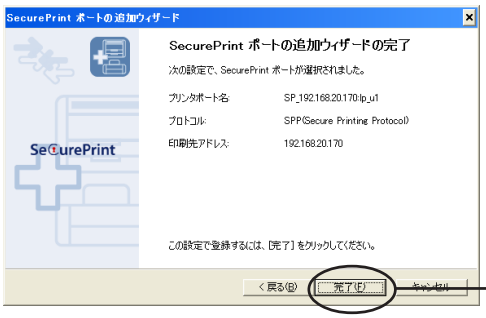
6.



名前を指定しない場合は既定のプリンタポート名をご使用ください。

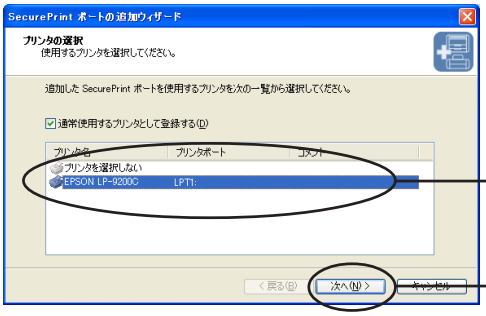
「次へ」をクリックします。

7.



「完了」をクリックします。

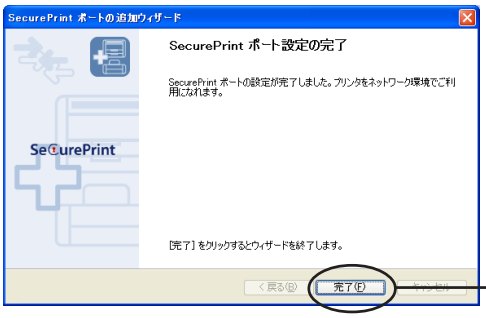
8.



使用するプリンタを選択します。

「次へ」をクリックします。

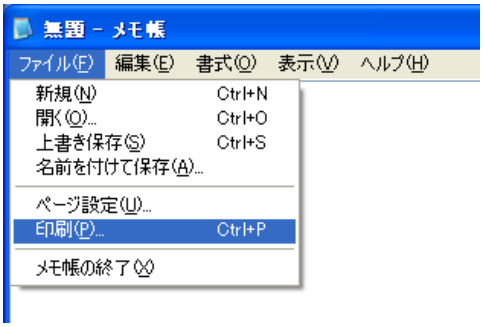
9.



「完了」をクリックします。

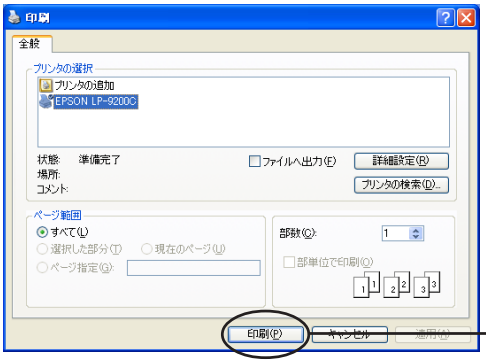
印刷する

1. 印刷する文章を開き、アプリケーションから印刷を実行します。



注意
・印刷の実行方法はアプリケーションにより異なります。アプリケーションの取扱説明書またはヘルプを参照してください。

2. 印刷ダイアログウインドウで「印刷」をクリックします。



「印刷」をクリックします。

3. 印刷結果がプリンタに出力されます。

4 登録したユーザのみが印刷を実行できるように制限する

この方法では、本製品のプリントサーバ部にプリンタを使用するユーザの指紋データを登録して、未登録ユーザによるプリンタの使用を制限します。

参考

・プリントサーバ部への指紋データ登録は、1ユーザあたり5指分で、60ユーザ(約300指分)の情報を登録することができます。

このモードでは、印刷実行直後に、パソコン上でプリントサーバ部に登録されている指紋との照合を行います。プリントサーバ部に登録されていないユーザは印刷を実行できません。印刷が許可されたユーザは、印刷ポートで登録したモードにしたがって印刷が開始されます。

参考

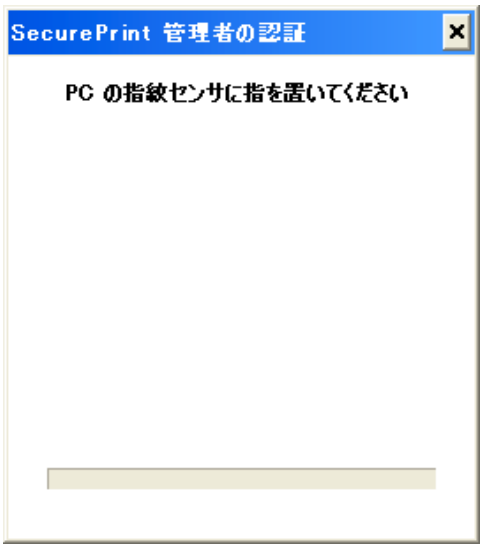
・印刷ポートの作成方法については、前述の
「Windows にログオンした時の指紋データで印刷する」
「印刷実行時に採取した指紋データで印刷する」
「データの暗号化のみを行って印刷する」
を参照してください。
・プリントサーバ部への指紋データの登録方法については後述の「プリントサーバ部に指紋データを登録する」を参照してください。

プリントサーバ部に指紋データを登録する

1. Windows OSの「スタート」メニューから「(すべての)プログラム」-「SecurePrint」にある「ユーザーデータの編集」を実行します。

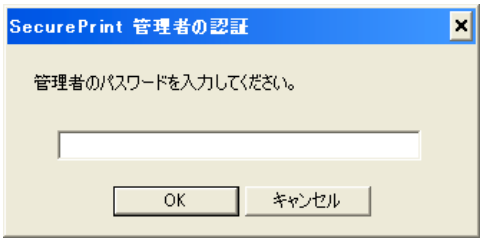
注意
・スタートメニューに「ユーザーデータの編集」がない場合は、「アプリケーションのインストール」を参考に「ユーザーデータの編集ユーティリティ」をインストールします。

2. 指紋照合ウインドウが表示されますので、パソコンに接続されている指紋センサに管理者情報として登録した指を置きます。

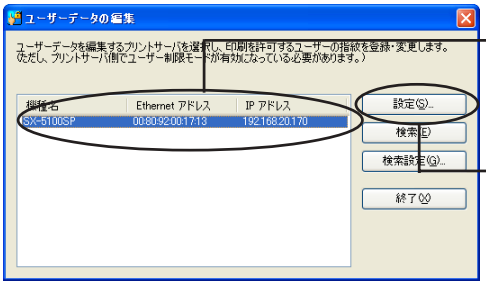


指紋センサに指を置きます。

注意
・下記の場合、パスワード入力ウインドウが表示されますので、管理者情報として登録したパスワードを入力して、「OK」をクリックします。
  - 指紋センサがパソコンに接続されていない場合
  - 管理者情報に指紋データを登録していない場合
  - 指紋入力ウインドウが表示された状態でホットキーが入力された場合



3. ユーザーデータの編集ユーティリティが起動すると本製品がリストに一覧表示されます。



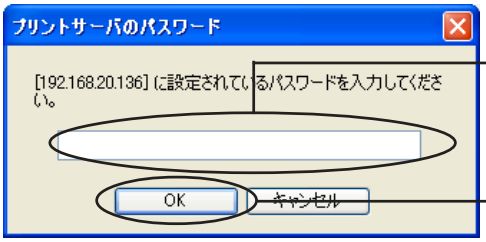
指紋データを登録する本製品を選択します。

「設定」をクリックします。

参考

・「検索設定」をクリックすると検索するネットワークを設定することができます。

4.



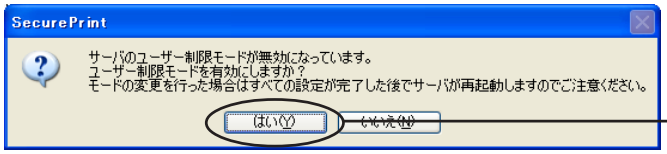
プリントサーバに登録されているパスワードを入力します。

「OK」をクリックします。

注意

・ここで入力するパスワードはSecurePrint管理者のパスワードではなく、プリントサーバに登録されているパスワード(工場出荷時設定では空白)を入力します。

・本製品のプリントサーバ部の設定で「ユーザ制限モード」設定が「DISABLE」の場合は、パスワード入力後に下記のメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。「ユーザ制限モード」設定が「ENABLE」になります。

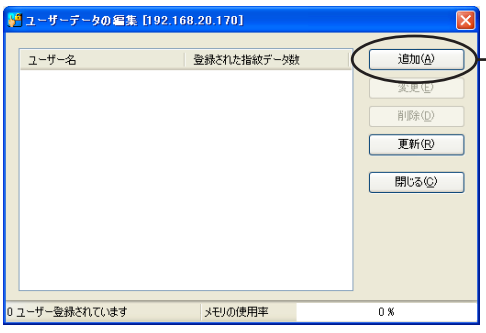


「はい」をクリックします。

・「ユーザ制限モード」設定を「ENABLE」にすると「LPR」「Raw Mode」「IPP」「FTP」印刷が禁止されます。

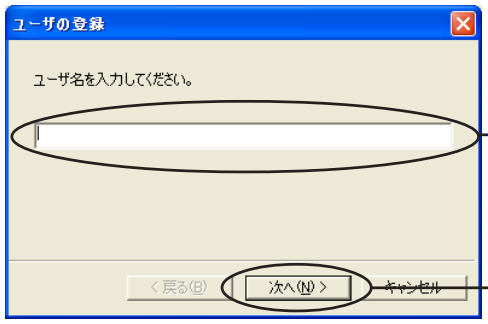
・「ユーザ制限モード」設定を「DISABLE」にする場合は、Webブラウザで設定を行ってください。

5. ユーザデータ編集画面が表示されます。



「追加」をクリックします。

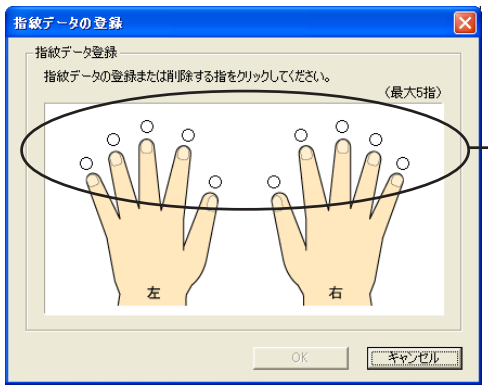
6.



「ユーザ名」を入力します。

「次へ」をクリックします。

7.



指紋データを登録する指を選択します。

8. 指紋データの登録画面が表示されます。画面の指示に従い、指紋データを登録します。

注意

・登録する指紋は印刷を実行する人の指紋を登録してください。

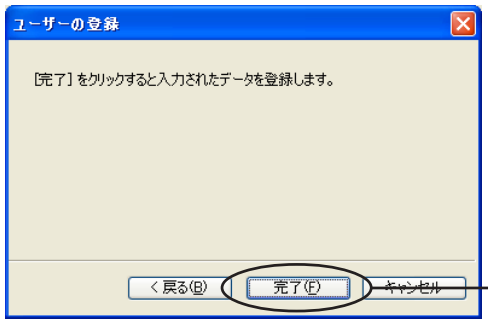
9.

「OK」をクリックします。

注意

・「OK」ボタンをクリックすると、6. の画面に戻ります。別の指の指紋を採取する場合は、7. ～ 9. の操作を繰り返してください。指紋の採取を完了する場合は7. の画面で「OK」をクリックします。
・指紋データは 1 ユーザあたり最大 5 指分まで登録できます。
・特徴点データの品質パーセンテージが低い場合は、「再スキャン」をクリックして再度指紋データを登録しなおしてください（推奨は 80% 以上です）。

10.



「完了」をクリックします。

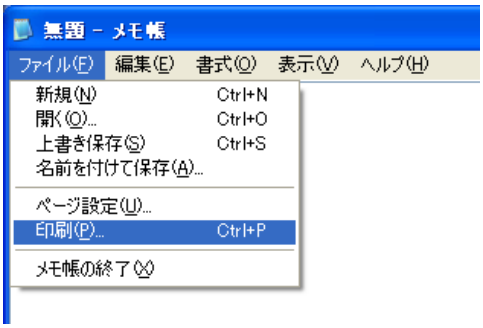
注意

・「完了」ボタンをクリックすると、5. の画面に戻ります。別のユーザの指紋を採取する場合は、5. ～10. の操作を繰り返してください。指紋データの登録を完了する場合は5. の画面で「閉じる」をクリックします。
・指紋データは 60 ユーザ分（約 300 指分）まで登録できます。

印刷を許可するすべてのユーザの指紋データの登録が完了したら、指紋の登録作業は終了です。3. の画面で「終了」をクリックします。

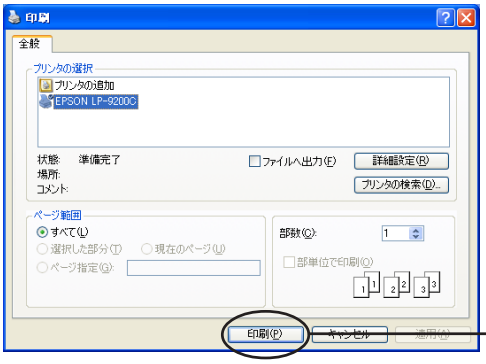
印刷する

1. 印刷する文章を開き、アプリケーションから印刷を実行します。



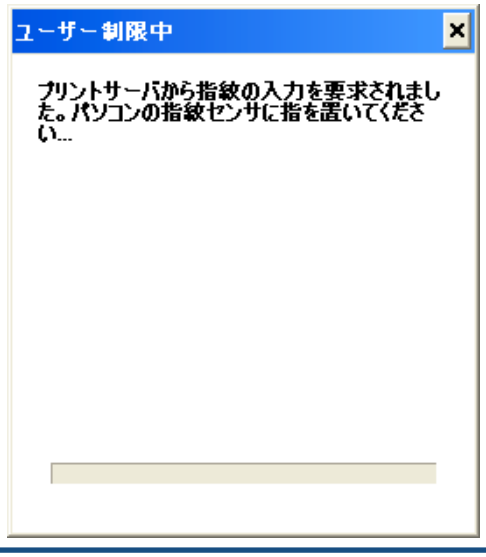
注意
・印刷の実行方法はアプリケーションにより異なります。アプリケーションの取扱説明書またはヘルプを参照してください。

2. 印刷ダイアログウインドウで「印刷」をクリックします。



「印刷」をクリックします。

3. 指紋登録ウインドウが表示されますので、パソコンに接続されている指紋センサに指を置きます。

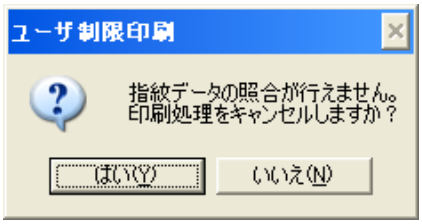


指紋センサに指を置きます。

4. 指紋照合にパスすると印刷が実行されます。

注意

・指紋照合にパスしなかった場合は、エラー画面が表示されます。再度印刷を試みる場合は、「いいえ」をクリックして、指紋データを照合しなおしてください。



・印刷ポートの作成の際に、「本人認証印刷」機能を使用するモードが選択された場合は、パソコン上での指紋照合にパスした後、プリントサーバ部での指紋照合が必要になります。